

みずほCustomer Desk Report 2019/03/07 号(As of 2019/03/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.82
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	111.86	1.1306	126.47	1.3155	0.7088
SYD-NY High	111.92	1.1324	126.53	1.3181	0.7092
SYD-NY Low	111.62	1.1286	126.18	1.3124	0.7021
NY 5:00 PM	111.78	1.1308	126.38	1.3171	0.7032
NY DOW	25,673.46	▲ 133.17	日本2年債	-0.1500	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,505.92	▲ 70.44	日本10年債	-0.0100	▲ 1.00bp
S&P	2,771.45	▲ 18.20	米国2年債	2.5151	▲ 3.05bp
日経平均	21,596.81	▲ 129.47	米国5年債	2.4983	▲ 3.03bp
TOPIX	1,615.25	▲ 3.98	米国10年債	2.6925	▲ 2.54bp
シカゴ日経先物	21,550.00	▲ 140.00	独10年債	0.1270	▲ 3.85bp
ロンドンFT	7,196.00	12.57	英10年債	1.2250	▲ 6.10bp
DAX	11,587.63	▲ 33.11	豪10年債	2.1040	▲ 5.00bp
ハンセン指数	29,037.60	76.00	USDJPY 1M Vol	5.27	▲ 0.12%
上海総合	3,102.10	47.85	USDJPY 3M Vol	5.90	0.04%
NY金	1,287.60	2.90	USDJPY 6M Vol	6.55	▲ 0.03%
WTI	56.22	▲ 0.34	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	181.23	▲ 0.67	EURJPY 3M Vol	6.68	▲ 0.04%
ドルインデックス	96.88	0.01	EURJPY 6M Vol	7.45	▲ 0.00%

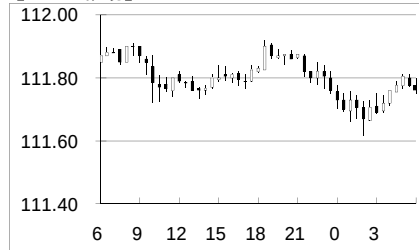
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月6日	09:30	豪 GDP(前期比/前年比)	4Q 0.2%/2.3%	0.3%/2.6%
	22:15	米 ADP雇用統計	2月 183k	190k
	22:30	米 貿易収支	12月 -\$59.8b	-\$57.9b
3月7日	00:00	カナダ中銀翌日物貸出金利	- 1.75%	1.75%
	02:00	米 ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁「政策変更、経済指標を待つ余裕がある」		

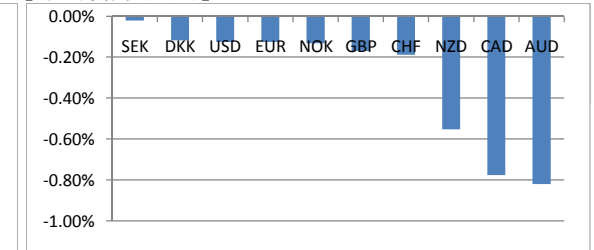
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月7日	09:30	豪 貿易収支	1月 A\$2,750m	A\$3,681m
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 0.3%	-0.4%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・季調済・確報	4Q 0.2%/1.2%	0.2%/1.2%
	21:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.000%/0.250%/-0.400%	0.000%/0.250%/-0.400%
	22:30	欧 ECBドラギ総裁 会見	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 225k	225k
3月8日	02:15	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20—112.00	1.1250—1.1350	125.80—126.80

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は狭いレンジ推移となった。発表された米2月ADP雇用統計・米12月貿易収支ともに強弱混在の結果となり、相場の方角感を定める材料とはならなかった。本日は上値の重い展開を予想。先週金曜日に111円台後半に乗せて何度か112円台を試すも同水準での定着には至っていない。斯かる状況下、昨日はドル円こそレンジ推移であったものの米金利は低下・米10年・2年金利差も縮小、米株も弱含んでいる状況であり、メインシナリオとして上値トライは難しいと考える。但し、開催されるECB理事会でハト派的メッセージが踏み込んで発せられれば、ユーロ売りドル買いからドル高円安に振れる可能性はあり、こうしたリスクシナリオには注意が必要だ。

東京	東京時間のドル円は111.86レベルでスタート。前日の米株安の流れを引継いだ軟調な日経平均、弱い豪・第4四半期GDPの結果を受けクロス円全般に下落圧力がかかる中、ドル円は一時111.72まで下押し。その後は特段の材料なく、狭いレンジのまま111.81レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110.81レベルでオープン。LDN朝方は中国市場の株高を受けて111.92まで上昇するも、海外時間に米経済指標の発表を控え失速。その後、ドル円は株が弱含むと上値が重い展開、110.77まで売られ、111.80レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3132レベルでオープン。ケーク英民間企業相は「英国の欧州離脱について、合意なき離脱が決まった場合にのみ、輸入関税に関する計画を発表する」と発言するも、市場の反応は限定的。その他、特に目立ったヘッドラインがない中、終日方向感が出ない展開、1.3126～1.3153で小動き、1.3147レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で111.72～92での狭いレンジでの推移が続いたドル円は111.80レベルでNYオープン。NY朝方は、米2月ADP雇用統計が予想をやや下回り、米12月貿易収支が対中国、メキシコ、ドイツでの赤字幅拡大を受け予想以上に拡大したが、ドル円の反応は限定的。その後は貿易統計での輸出鈍化を嫌気し、株式市場が徐々に軟化する動きに円買いが優勢となり、安値111.62まで下落。NY午後には、株式市場が下げ渋り、7日のECB理事会を控えた調整からドルが買い戻される動きもあり、ドル円は111.81まで反発し、111.78レベルでクロス。尚、発表されたページブックで政府機関の閉鎖を受け、景気判断が下方修正されたが、ドル円の反応は限定的であった。一方、ユーロドルはECB理事会を7日に控え、海外市場で1.1290～1.1310での取引が続き、1.1303レベルでNYオープン。NY朝方はECBは見通しを引き下げ、新たな資金オペであるTLTRO(条件付長期資金供給オペレーション)を検討する可能性があることと報じられたことから、ユーロ売りが強まり、1.1286まで下落。その後は米金利が低下する動きにドル売りが強まり、ユーロドルは1.1324まで反発し、1.1308レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・田家